

父島列島生態系保全管理WGの検討結果報告

< 陸産貝類に係る主な調査結果について >

(1) 調査方法

- ・簡易コドラート調査：同一植生（主として樹林）の一定範囲内（25m x 25m 以内）において、1人の調査員が15分間の目視による確認を行い、確認した種名・個体数及び確認個体の状態（生死やネズミによる食害の有無等）を記録した。ただし、弟島の小浜地区では、既存の報告（環境省関東地方環境事務所，2011）と同じ方法（10 x 10m の範囲内で5～6区のコドラートでの確認調査）を採用した。
- ・任意調査：コドラート調査以外に、踏査中に目視で確認を行った。  
個体の探査に際しては、調査環境を極力攪乱しないように努めた。

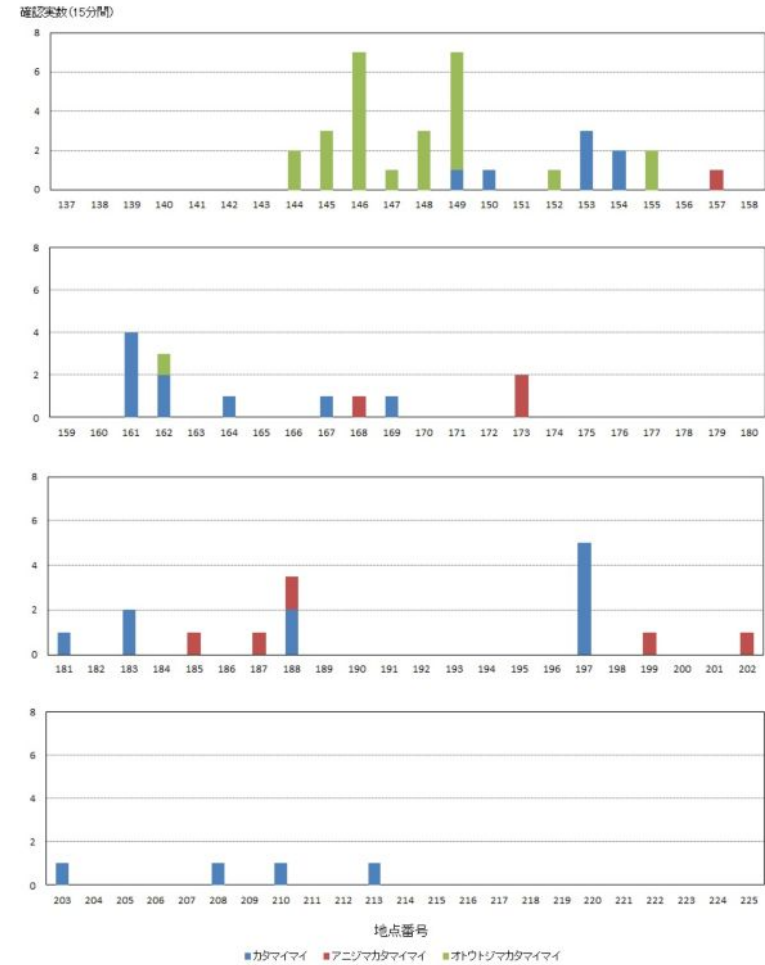
(2) 兄島北西部における陸産貝類調査結果（概要）

陸産貝類の生息確認種

アニジマヤマキサゴ、カドオガサワラヤマキサゴ、ハハジマヤマキサゴ、ミガキヤマキサゴ、オガサワラヤマキサゴ属の一種.B、トライオンノミガイ、ハハジマキセルガイモドキ、ヘタナリエンザガイ、ポニキビガイ、ハハジマヒメベッコウマイマイ、カタマイマイ、アニジマカタマイマイ、オトウトカタマイマイ

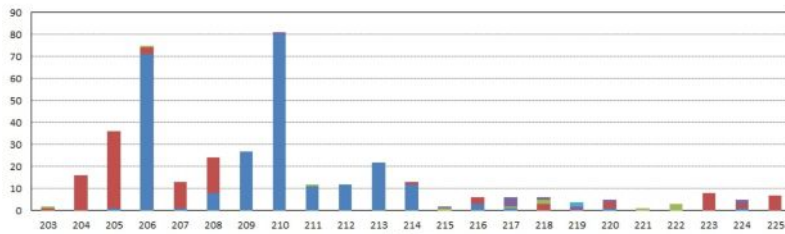
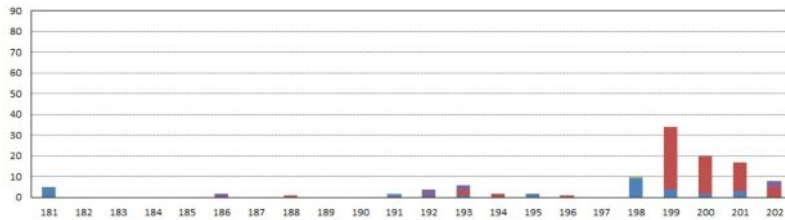
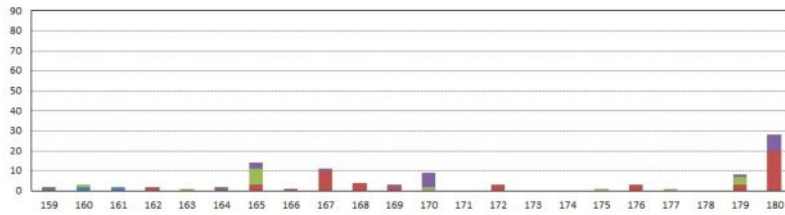
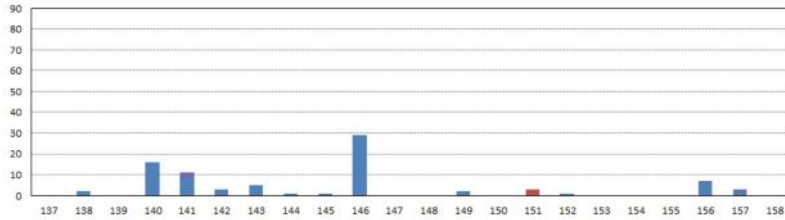
カタマイマイ類の生貝の確認状況（確認実数）

横軸は調査地点 No.



オガサワラヤマキサゴ類の生貝の確認状況（確認実数）

確認実数(15分間)



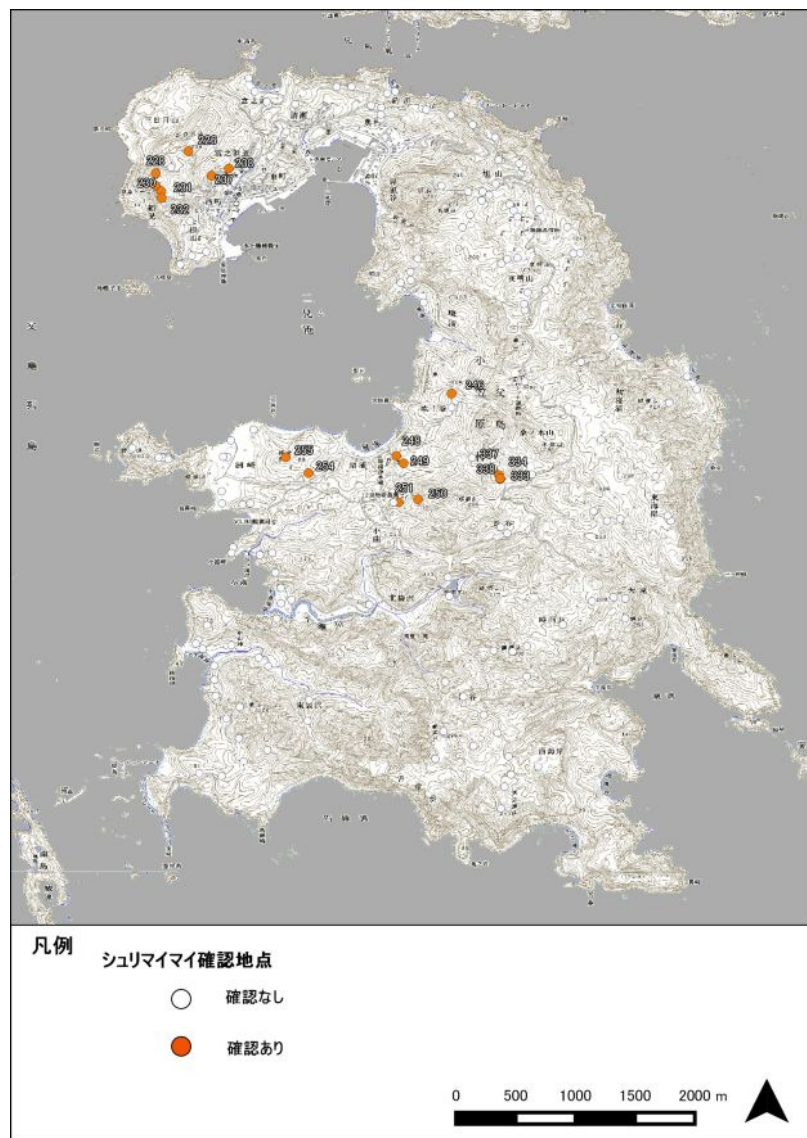
■アノシヤマキサゴ ■オガサワラヤマキサゴ ■ハハシヤマキサゴ ■ミガキヤマキサゴ ■Ogasawarana sp.B

(3) 父島における外来陸産貝類3種の調査結果(概要)

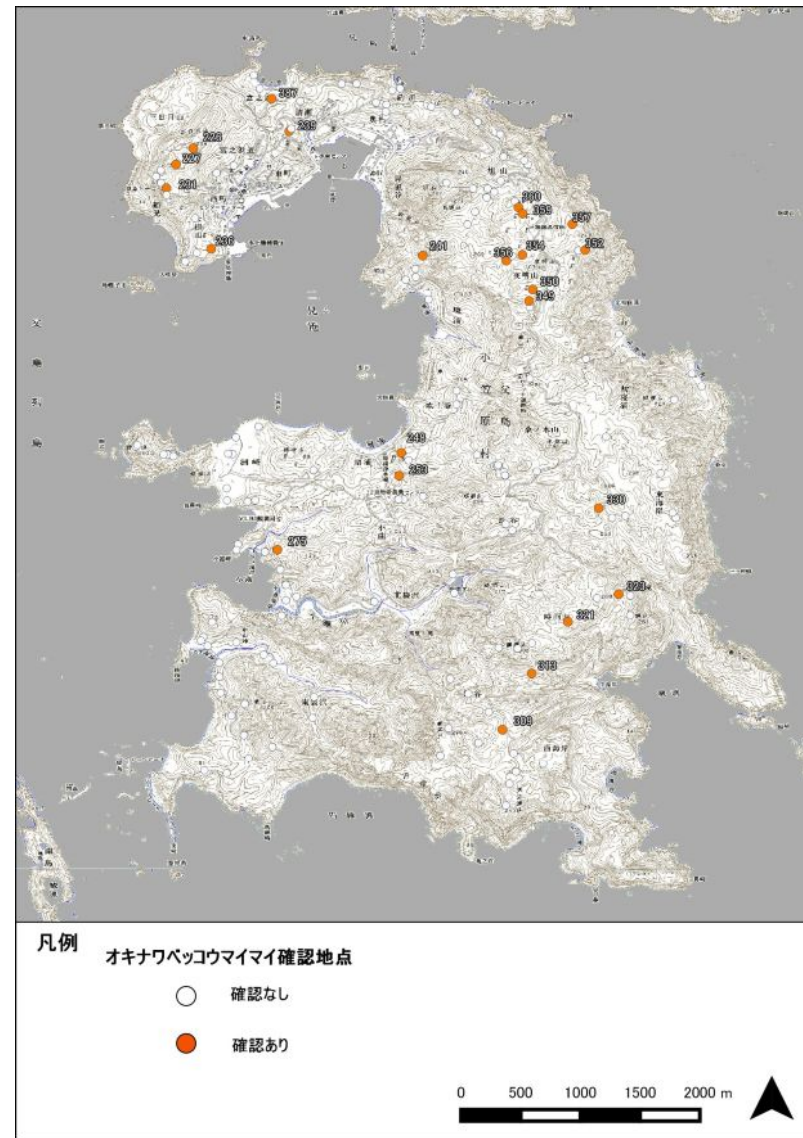
父島で生息確認した種のうち、沖縄原産の外来3種の生息状況は、以下に示したとおりである。

種・種群	生息状況
・シュリマイマイ <i>Coniglobus mercatorius</i>	・父島北部の三日月山一帯の樹林地及び中西部の扇浦一帯の2つの地域から確認された。 ・侵入当初の分布状況は不明だが、分布が拡大している可能性がある。
・オキナワベッコウマイマイ <i>Ovachlamys fulgens</i>	・父島の広い範囲から確認された。 ・侵入当初の分布状況は不明だが、分布が拡大している可能性がある。
・ナハキビ <i>Parakaliella nahaensis</i>	・父島の広い範囲から確認された。 ・侵入当初の分布状況は不明だが、分布が拡大している可能性がある。

父島のシュリマイマイの生貝の確認状況



父島のオキナワベッコウマイマイの生貝の確認状況



父島のナハキビの生貝の確認状況

